

(51) IntCl ⁴	識別記号	F I
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21 Z
13/00	3 5 1	13/00 3 5 1 E
15/00	3 1 0	15/00 3 1 0 Z
G 0 9 F 27/00		G 0 9 F 27/00 G
// G 0 9 G 5/00	5 1 0	G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平9-60149

(22) 出願日 平成9年(1997) 2月28日

(71) 出願人 597035436

ネットビレッジ株式会社

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

(72) 発明者 飯田 祥一

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 ネット

ビレッジ株式会社内

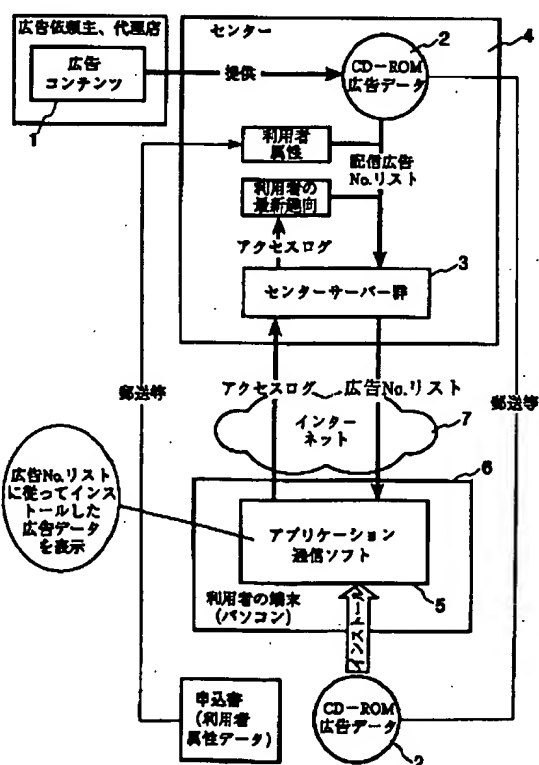
(74) 代理人 弁理士 神崎 正浩

(54) 【発明の名称】 広告配信サービスシステム

(57) 【要約】

【課題】 従来センター側でのみ独自に行なっていた情報提供を、利用者側での動的ログデータを情報センターサーバ側で把握させることにより、動的ニーズに対応した広告情報を随時利用者側に提供する。

【解決手段】 センター4により各利用者のアプリケーション通信ソフト5を介してのアクセス情報に応じた動的ログデータを予め記録管理し、該動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて制御情報送信手段により動的ニーズに対応した広告情報をセンター4から各利用者側へ提供するシステムを構築する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 予め複数の利用者に送付されるアプリケーション通信ソフトとしての予めサービス提供者によりグラフィックデータや広告データ等のサービス情報内容が内蔵記録設定されたCD-ROM機構による記録媒体と、該記録媒体から端末操作を介して情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバからアプリケーション通信ソフトをコントロールするための情報を得る制御情報送信手段とを備え、利用者の住所や年齢等の静的属性データに対応するだけでなく、利用者による動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて前記制御情報送信手段を介して動的ニーズに対応した広告情報が情報センターサーバから各利用者側へ随時提供されることを特徴とする広告配信サービスシステム。

【請求項2】 前記情報センターサーバは、利用者の動的なニーズを各種のインターネットサイト利用の状況を組み合わせることで把握認知し、且つ特定の利用者に対し重点的にターゲットを絞り込んで限定された広告を開設する旨の送信を随時行なわせる広告情報送信手段を有するものとした請求項1記載の広告配信サービスシステム。

【請求項3】 前記記録媒体には、利用者側へ配信された広告の閲覧状況のデータが前記制御情報送信手段を介して情報センターサーバ側へフィードバックされるフィードバック機能が設定内蔵されている請求項1記載の広告配信サービスシステム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えばゲームソフト等に応用されるものであり、コンピュータグラフィックス等による画面表示内で仮想都市国家を構築し、その中で複数の参加利用者およびサービスの間での通信を実現するための主としてインターネットの仕組みとCD-ROM機構によるアプリケーション通信ソフトを使用した広告配信サービスシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、ゲームソフト用のコンピュータグラフィックス等による画面表示の中に構築された仮想都市空間の中へネットワークを通じて自分の分身を送り込み、この中で自由に生活する所謂ハイパーコミュニケーションネットワークのためのCD-ROM機構がある。また近年、インターネット経由で各利用者のパソコンに立体仮想空間映像を送り込む方式が現実のものとなりつつある。この種の広告配信サービスシステムとしては、パソコンと通信モデムによる通信回線接続サービスをするプロバイダや、通信回線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信によるものが主流であった。これらの広告配信の形態は、センターサーバ側から広告のデータダウンロードしてくるものが殆どであり、しかも

不特定多数の利用者に一斉に配信するという形態であった。また、従来では情報センターのサーバ側での起動手段だけで表示コマンド列の生成やサービスの実行処理を全て能動的に行う必要があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の広告配信サービスシステムでは上記したプロバイダやキャリア、電話回線の大量保有等の大がかりな設備や人員を抱える必要があった。また、情報センターサーバ側では仮想空間を構築する目的で利用者側に対し常時特定の指示を行なわなければ、利用者がどのようなホームページを利用し、あるいはどの広告情報を頻繁に活用しているかの動向が容易に把握することができず、その結果、動的ニーズに対応した広告情報を利用者側に提供することができないという問題点を有していた。

【0004】 そこで本発明は、叙上のような従来存した問題点に鑑み創出されたもので、従来の回線接続サービスをするプロバイダや、回線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信や、情報センターサーバ側で特定の利用者に対する指示を能動的に行なわせたりする必要性を皆無と成し、また単なるパソコン上のアプリケーション通信ソフトの一つとして活用させることにより、従来のようにWEBブラウザを選ぶような必要性を皆無と成し、利用者側での動的ログデータを情報センターサーバ側で常時把握させることにより、動的ニーズに対応した広告情報を随時利用者側に提供することができる広告配信サービスシステムを提供することを目的としたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上述した目的を達成するため、本発明にあっては、予め複数の利用者に送付されるアプリケーション通信ソフトとしての予めサービス提供者によりグラフィックデータや広告データ等のサービス情報内容が内蔵記録設定されたCD-ROM機構による記録媒体と、該記録媒体から端末操作を介して情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバからアプリケーション通信ソフトをコントロールするための情報を得る制御情報送信手段とを備え、利用者の住所や年齢等の静的属性データに対応するだけでなく、利用者による動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて前記制御情報送信手段を介して動的ニーズに対応した広告情報が情報センターサーバから各利用者側へ随時提供されることを特徴とする。

【0006】 前記情報センターサーバは、利用者の動的なニーズを各種のインターネットサイト利用の状況を組み合わせることで把握認知し、且つ特定の利用者に対し重点的にターゲットを絞り込んで限定された広告を開設する旨の送信を随時行なわせる広告情報送信手段を有するものとする。

【0007】前記記録媒体には、利用者側へ配信された広告の閲覧状況のデータが前記制御情報送信手段を介して情報センターサーバ側へフィードバックされるフィードバック機能が設定内蔵されている。

【0008】本発明に係る広告配信サービスシステムにあって、利用者がアクセスしたログデータはリアルタイムでセンターサーバ側に送られ、センターサーバ側に動的ログデータが蓄積されている。一方、利用者側のパソコン端末には、予め配布されたCD-ROMより広告データがインストールされており、センターサーバ側から利用者の属性等の静的データや、これらの動的ログデータに基づき、制御情報送信手段により動的ニーズに対応した広告情報が情報センターサーバから各利用者側へ提供されることで従来情報センターサーバ側で行っていたサービス処理表示生成を利用者側パソコン端末の起動のみで行なえる。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明すれば、広告配信サービスシステムを構成する通称ネットビレッジはユーザーのアイデアを受けて共同して構築される仮想都市国家であり、通信サービスの利用者同士のリアルタイムな情報交換を伴うサービスシステムでもある。該広告配信サービスシステムは、図1に示すように、ユーザーの属性情報の記録、ユーザーの最新趣向のデータ化、予め広告代理店等のサービス提供者である広告コンテンツ1により例えばサービス処理情報内容と共にグラフィックデータ、広告データ等が予めCD-ROM2として制作設定され、これら3つの情報をもとにセンターサーバ3により利用者毎に流す広告を決定させ、且つ広告リストを登録させるセンター4と、該センター4において制作されたCD-ROM2を予め複数の利用者に郵送等により送付され、該CD-ROM2がアプリケーション通信ソフト5としてインストールされる利用者側のパソコン端末6とから構成されている。このCD-ROM2によりアプリケーション通信ソフト5をインストールさせることで該アプリケーション通信ソフト5による端末操作を介してセンターサーバ3にアクセスさせるものである。そして、センターサーバ3からインターネット機能7を介してアプリケーション通信ソフト5をコントロールする情報を得るための周知の制御情報送信手段（図示せず）を備えている。尚、利用者側は前もって利用者属性データを郵送等によりセンター4側へ申し込みされている。

【0010】上記した構成の具体的な広告配信サービスシステムフローとしては、図2に示すように、利用者側からセンター4側へ利用者登録に必要な属性情報の入力を郵送等の申し込み方式により行ない、そこで属性情報の記録がなされる。そして、ユーザーのパソコン端末6でのビルクリック操作によりセンターサーバ3側へクリックログの記録が行なわれ、そこでユーザーの興味を

データ化する等のクリックログの記録分析が行なわれる。一方、センター4側において予め広告コンテンツ1で制作された広告情報をCD-ROM2に焼き込み、これを利用者側へ郵送により送付させ、CD-ROM2内の広告コンテンツを利用者のパソコン端末6へインストールさせる。また、センターサーバ3側において、前記属性情報の記録、クリックログの分析記録、CD-ROM2に焼き込まれた広告コンテンツ記録の3つの情報をもとに利用者毎に流すべき広告を決定させ、広告ナンバーリストをセンターサーバ3へ登録させた後、利用者側のパソコン端末6へ送り、そこでデータ更新時に広告表示ナンバーのリストを入手させ、利用者側は指示に従って利用者パソコン内へインストール済の広告データを表示させるのである。

【0011】上記した構成により、各利用者の前記記録媒体としてのCD-ROM2によりアプリケーション通信ソフト5を介してのアクセス情報に応じた動的ログデータがセンターサーバ3に予め記録管理され、利用者による動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて前記制御情報送信手段により動的ニーズに対応した広告情報がセンターサーバ3から各利用者側へ提供されるのである。

【0012】すなわち、前記センターサーバ3は、利用者の動的なニーズを各種のインターネットサイト利用の状況を組み合わせることで認知し、且つ特定の利用者に対し重点的にターゲットを絞り込んで限定された広告を開設する旨の送信を行なわせ、センターサーバ3により特定の広告を開設する旨の送信を行なわせることにより、例えば広告代理店の広告配信用PCを通じて、TVスポットの予約と同様の方式で特定の利用者に対してアニメーション広告を配信（1アニメーション15秒）することができるのである。このようにネットビレッジは住民全員に対しての配信から、或る特定の要件を満たす少数住民にまで、あらゆる特性をクロスさせてターゲットを絞り込んだ広告の配信を可能とさせている。例えば住宅ローンシミュレーションサイトを数回利用し、且つ所得が一定以上の貸家住まいの人に向けて住宅の広告を打つなど、参加企業は住民の動的なニーズを各種のサイト利用の状況を組み合わせることで知ることができ、ターゲットを絞り込むことが可能で、且つその人達だけに重点的に広告配信ができる仕組みとなっている。また、アプリケーション通信ソフト5には、利用者側へ配信された広告の閲覧状況のデータがフィードバックされるフィードバック機構も備えており、配信された広告の閲覧状況すなわちどのような人がどれだけクリックしたかの詳細なデータが前記制御情報送信手段により情報センターサーバ4側へフィードバックされる。

【0013】そして、参加企業は上記広告をクリックし利用した特定の利用者に対し、利用者が希望した場合に限って自社のカタログ等のDMを配信することができる

ようにされている。この配信はネットビレッジが代行し、利用者に届ける定期刊行物に同封する形で行なわせるので、参加企業は安価に配信でき且つ発送の手間を省くことができる。

【0014】次に、本発明の使用の一例を説明するに、仮想都市国家に参加する利用者のもとにはネットビレッジ国に入国するためのパスポートである仮想の新聞としてのCD-ROM2が毎月送付され、利用者はこのCD-ROM2をパソコン端末6に入れてアクセスする。この時、モニターには新聞さながらの画面が再現表示され、利用者は各種方面での拾い読みによって、ネットビレッジに関する最新ニュースや新規情報を入手する。このとき、最新のブラウザやインターネット関連のソフトも紙面からインストールできる。また、途中で会員になった利用者はネットビレッジ新聞社のWEBページへ過去のバックナンバーを読みに行くこともできる。そして、ネットビレッジは会員制であり、且つ動的ログデータが情報センターサーバ側で把握されており、利用者の年齢、住所、職業等の属性はもとより、その利用者がどのようなサービスを利用し、あるいはどのWEBページを頻繁に見ているか等の動向が把握できる。すなわち、特定の年齢、指定された地域への広告配信例えば20代の女性向けの化粧品の広告や、地域密着型企业や商店のエリアを限定した広告等、あるいは特定の嗜好を持つ利用者に対しての広告配信例えば車のWEBページを多く見ている利用者に対しての自動車メーカーの広告等を行なうことができ、動的ニーズに対応した広告配信ができるのである。そして、参加企業側から見ると利用者がどの広告をクリックしたかだけでなく利用者がいつどのサイトを訪問(クリック)したかはセンターサーバ3は住民アクセスログデータとして全て捕捉されており、これをフィードバックすることができることから、広告配信はもちろん企業がネットビレッジ内に例えばビルの形で自社WEBページを開設(リンク)することで、企業

には受動的メリットを発生させるものとしている。

【0015】

【発明の効果】本発明は以上のように構成されており、従来の回線接続サービスをするプロバイダや、回線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信や、情報センターサーバ側で特定の利用者に対する指示を能動的に行なわせたりする必要性を皆無と成し、また単なるパソコン上のアプリケーション通信ソフトの一つとして活用させ、従来のようにWEBブラウザを選ぶような必要性を皆無と成し、利用者側での動的ログデータを情報センターサーバ側で常時把握させることにより、動的ニーズに対応した広告情報を随時利用者側に提供することができる。特に、利用者全員に対しての配信から、或る特定の要件を満たす利用者まで、あらゆる特性をクロスさせてターゲットを絞り込み、広告の配信を可能とし、且つ動的ログデータが情報センターサーバ側で把握されており、利用者の年齢、住所、職業等の属性はもとより、その利用者がどのようなサービスを利用し、あるいはどのWEBページを頻繁に見ているか等の動向が把握できる。

【図面の簡単な説明】

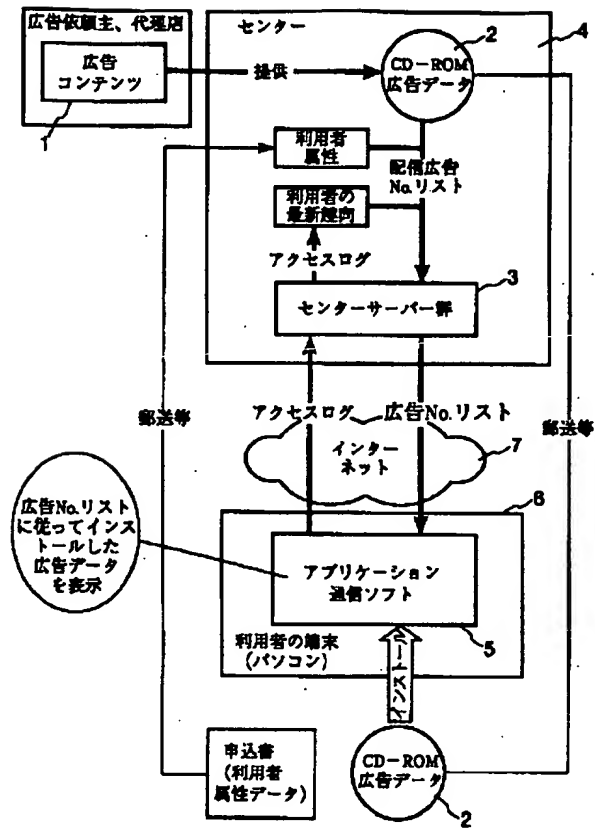
【図1】本発明の実施の形態を示したシステム構成図である。

【図2】同じく図1におけるシステムフローチャートである。

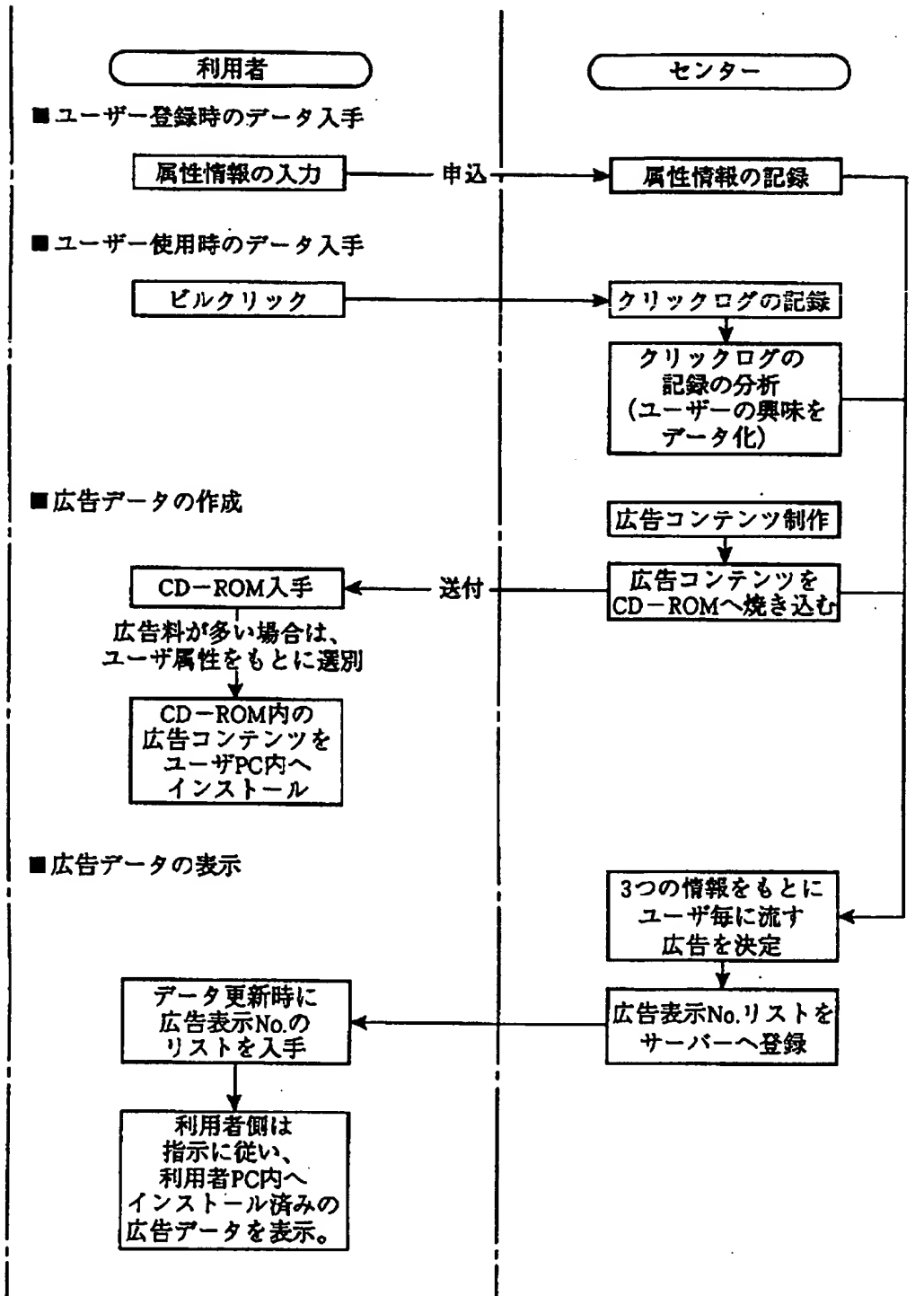
【符号の説明】

- | | |
|-----------------|----------|
| 1…広告コンテンツ | 2…CD-ROM |
| 3…センターサーバ | 4…センター |
| 5…アプリケーション通信ソフト | 6…パソコン端末 |
| 7…インターネット | |

【図1】



【図2】



フロントページの続き